

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	コンピュータ概論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	平野 剛						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの歴史を知る。(A8,C6) ・コンピュータの動作原理を説明できる。(A3,A8,B4) ・コンピュータで取り扱うデータ表現について理解し、簡単なデータ表現演算ができる。(A3) ・コンピュータの構成要素について説明できる。(A3,B4,B6) 						
日程と内容	<p>4/12 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/19 コンピュータの構成、歴史 4/26 コンピュータの性能評価 5/3 データ表現（2進数） 5/10 データ表現（負数） 5/17 データ表現（文字コード） 5/24 集合 5/31 論理演算 6/7 臨時試験 6/14 組み合わせ回路Ⅰ 6/21 組み合わせ回路Ⅱ 6/28 コンピュータの動作原理、演算装置 7/5 コンピュータの構成要素—記憶装置— 7/12 コンピュータの構成要素—入出力装置— 7/19 定期試験 7/26 総括</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	20%					
授業到達目標の達成度	到達目標の項目は十分講義に盛り込むことが出来ていると考えているが、学生が十分に理解しているとは言い難い。						
反省点	今年度から教科書を平易な内容のものに変更したため、補習も含めた最終合格者を85%へと高めることが出来た。しかし、教科書の内容だけでは不十分であったため、追加した項目も多くなった。一部は資料として配布したが板書のみということも多かった。						
来年度の計画	教科書に載っていない追加項目についてはなるべく資料を配布することで、学生の理解度を高める。また補習授業を受けなくとも合格できるように、随時理解度を確認するための演習問題を解かせる。						
授業評価アンケートに対するコメント	「内容を理解できたか」と、「予習復習をしたか」の項目が3.8、3.7と評価4を下回ったが、それ以外の項目は4以上であった。また総合評価が8.1であったため授業に対して概ね学生は満足していると思われる。						
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	55名	合格率	85%